

第6回 学校と協働するSTのための講座

『子どもたちの生きる力につながるコミュニケーション支援 —学校と協働するSTの役割について考える—』

主 催 一般社団法人 東京都言語聴覚士会（地域生活支援局 特別支援教育部）

日 時：2021年 3月 14日（日） 13:30-16:30

会 場：オンライン開催（Zoom）

講 師：相澤 純一氏 NPO法人 訪問大学おおきなき 理事長

プログラム

講演 「教員が期待するSTの役割」 & 「ICTを活用したコミュニケーション支援」

対談 黒田 千穂（特別支援教育部）「教員とSTの協働—経験を通して、今、思う事」

2007年に都立特別支援学校に外部専門家が導入されて以降、特別支援学級、特別支援教室、通級指導学級などさまざまな教育現場でSTが活躍するようになりました。STとしてどうあるべきか、日々悩み、迷いながら、教員・児童生徒と関わっている方も多いと思います。今回の講師である相澤純一氏は、長年、特別支援学校の教員としてご勤務されている間、マジカルトイボックスとの出会いからAACの考え方を取り入れ、VOCAやスイッチ教材を活用した授業を行っていました。早期退職後は、NPOを立ち上げ、引き続き、障害の重いお子さん、大人の方の支援を行っていらっしゃいます。現在は、特別支援学校の外部専門員「ICTを含むコミュニケーション教材アドバイザー」としてもご活躍中です。

相澤氏の教員時代と、退職後の支援活動を振り返ってお話いただき、テーマである『学校と協働するSTの役割』について考えていきたいと思えます。相澤氏が実践しているスイッチや視線入力装置の活用についても、ご紹介いただきます。現在、学校にかかわっていらっしゃる方、今後、かかわってみたいと考えていらっしゃる方、皆様のご参加をお待ちしております。

参加費：東京都&各都道府県の言語聴覚士会会員：無料

※申し訳ございませんが、今回は上記会員の方を対象とさせていただきます。

定 員：50名（定員になりしだい締切）

申し込み：下記を記載してe-mailでお申し込みください。

gakko-st@st-toshikai.org（担当：黒田）

件名：第6回学校と協働するSTのための講座

- ①氏名、②勤務先、③電話番号、④メールアドレス ⑤都・県士会員
- ⑥今回の講座で聞いてみたい内容

◆お知らせ◆

本年、3月7日に予定しておりました講座「教育と言語聴覚士との協働による『読み書き困難のある子ども』の支援—実践編」につきましても、実践の紹介が中心になるため、対面研修が効果的です。今後、コロナ感染状況が改善され、対面研修の開催が可能になりましたら、改めて開催のお知らせをいたします。研修会場で、皆様と直接お会いできる日を心待ちにしております。